

「文学のまち大津」実行委員会について

令和8年7月17日

「文学のまち大津」実行委員会

「文学のまち大津」の取組経過

1 取組の背景

令和6年大河ドラマ『光る君へ』の放送を契機に、大津の文学的魅力への注目が上昇している。『源氏物語』のほか、俳句・かるた・百人一首など、多彩な文学資源が存在するだけでなく、今村翔吾氏や宮島未奈氏などの現代作家も在住しており、市民の誇りや愛着の源であると同時に、観光・教育・まちづくりなど多方面への展開が可能な大きなポテンシャルを秘めていることから、以下の事業を推進。

2 「文学のまち大津」ブランディング強化事業

「文学のまち大津」の取組を推進するため、令和7年度から以下5つの取組を実施

①ブランディング戦略の策定

②イベントの企画・実施

③協議会の運営

④ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）加盟に向けた取組

⑤プロモーションの実施

「文学のまち大津」の取組の全体像(イメージ)

協議会にて示された「文学のまち大津」の全体像は以下のとおり



「文学のまち大津」令和7年度の取組①

(1) 湖都の葉マルシェの開催

開催日時 令和7年11月15日(土) 10時～15時

会場 メイン：なぎさ公園おまつり広場・修景緑地
サテライト：丸屋町商店街周辺

来場者 推計3,500人(目標3,000人)

目的

① 作家・クリエイターが活躍できる

作家・クリエイターが表現できる場を提供することで文学活動を後押しする。また、他の作家・クリエイターや市民団体との交流や連携のきっかけとなる。

② 将来の作家・クリエイターの掘り起こし・育成

市民が様々な文学作品や作家・クリエイターの活動に触れることで、市民自らが将来の作家・クリエイターとなる動機づけを行う。

③ 文学ファンの創出

市民が文学の魅力に触れることで、文学に関心や親しみをもつきっかけとなる。

④ 「文学のまち大津」を市内外に発信する

文学にゆかりが深いまちであることを市内外に広く周知広報し、シビックプライドの醸成を図る。

⑤ 地域の賑わい創出

商店街等の市内の事業者と連携し、イベント会場を含む中心市街地の賑わい創出を図る。

実行委員会

- ・(一社)大津市商店街連盟
- ・(公社)びわ湖大津観光協会、
- ・株まちづくり大津
- ・大津市(商工労働政策課・文化振興課・図書館)

文学のまち大津に、新たな文学イベント誕生

初開催!!

文学のまち大津
The Story Begins Here

湖都の葉
マルシェ

入場無料

レジャーシートや
折り紙などの紙子を
持って来よう!

ここでしか出会えない1冊を見つけよう!

文学作品のフリーマーケット 100ブース

開催日 2025 11/15 [土] 10:00～15:00

【メイン会場】
なぎさ公園おまつり広場・修景緑地(大津港周辺)
雨天時、旧大津公会堂・大津市立図書館

【サテライト会場】
丸屋町商店街周辺
(大津市立図書館・大津市役所・ギャラリーQ等)

イベント
●おまつりグルメ10ブース以上
●ワークショップ
●移動図書館
●読書部・ライオン会の読書会
●おはなし会

3:00～15:00
今宵の宵話 × 読書部
トークイベント

メイン会場＆サテライト会場を巡ってらっしゃいませ!

読書カードがもらえる
スタンプラリー
読書カードを2枚集めると、読書部からプレゼントが当たる!

主催：おまつり文学のイベント実行委員会
TEL：077-526-2755 (大津市商工労働政策課内)

雨天時の会場変更は
公式Xでお知らせします。

OTSU
大津市
Lake Biwa

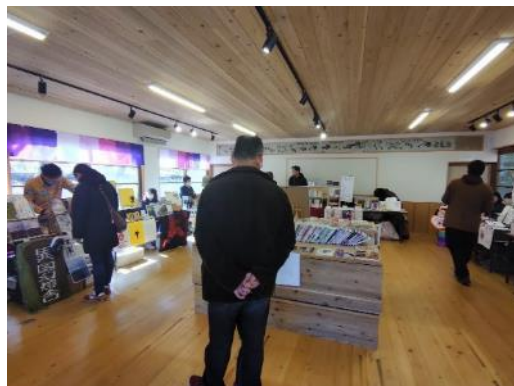
5

「文学のまち大津」令和7年度の取組③

(3) 源氏物語から立ち上げる “湖都の言の葉” in 石山寺

千年の時を経て読み継がれてきた「源氏物語」の魅力を市内外に伝えるため、紫式部が「源氏物語」を着想した石山寺を舞台にトークイベントや読書会等を開催。

- 日付：令和8年2月21日（土）
- 場所：大本山 石山寺 明王院／拾翠園
- プログラム
 - トークセッション「現代に読む源氏物語～変わってきたものと変わらぬもの～」（山崎ナオコーラさん&石山寺座主・鷺尾龍華さん）
 - 「源氏物語」読書会
 - 湖都の葉ミニマルシェ in 石山寺 など



今後の取組推進に向けた課題及び方向性

令和7年度の取組により、以下、課題が顕在化したことから、今後の取組推進に向け、以下の方向性で取組を進める。

1 顕在化した主な課題

- (1) 市民や文化団体の自主的な活動の連携・促進
- (2) 単発的なイベントへの偏り
- (3) 継続的かつ効果的な事業展開に向けた仕組み

2 今後の取組推進に向けた方向性

市民や文化団体等との協働及び柔軟で「持続可能」な運営体制の構築に向け、

「文学のまち大津」実行委員会を立ち上げる。

- ・ 市民主体の文化振興に向けた担い手育成と団体間連携
- ・ 民間資金の活用や多面的な幅広い事業展開の推進
- ・ 継続的な運営に向けた仕組みの構築

「文学のまち大津」実行委員会

1 設立の理由

大津の宝である「文学」を活かし、本市における文学の振興、文化の発展、大津のまちの魅力向上に資する事業を実施し、市民の誇りや愛着などを醸成する取組を進めるため、湖都の葉マルシェ実行委員会を発展的に解消し、大津の多様な市民、団体等で組織する「文学のまち大津」実行委員会を設立する。

2 実行委員会の役割（所掌事務）

- (1) 実行委員会会則の制定、改廃
- (2) 「文学のまち大津」の事業計画及び収支計画の策定
- (3) 上記計画に基づく事業の実施
- (4) 実行委員会の体制整備に関する検討
- (5) 関係団体等との連絡調整及び情報交換

3 実行委員会事務局

実行委員会事務局の運営等については、公募型プロポーザルを実施し事業者を決定

【受託事業者】一般社団法人地域改革

令和8年度からの取組体制

文化全般・文化振興計画に関する合議体

湖都文化推進審議会

文化振興計画の意見答申・諮問機関

湖都文化庁内推進本部

文化振興計画の進捗管理など

文化振興の推進に関する組織

大津市湖都文化実行委員会

目的：大津市文化振興計画に基づき、本市の文化振興の推進を図り、目指すまちの姿を実現するため、異なる立場の団体・事業者の交流・連携により、次に掲げる事業を実施すること

美術展委員会

・美術展の作品鑑査・展示に関する
こと

写真展委員会

・写真展の作品鑑査・展示に関する
こと

文化祭委員会

・文化祭の開催に関する
こと
・オープニングセレモニーに関する
こと
・短歌・俳句大会に関する
こと
・湖都の文学の作品募集・発刊
に関する
こと等

「文学のまち大津」に関する組織

「文学のまち大津」推進協議会

目的：意見聴取会的な役割

- ・龍谷大学政策学部教授（学識経験者）只友 景士
- ・成安造形大学 副学長 加藤 賢治 ・石山寺 座主 鷺尾 龍華
- ・大津市文化連盟（俳句）七里 源一
- ・電車と青春21文字プロジェクト 代表 福井 美知子
（株）しがぎん経済文化センター 角間 利昭
（公社）びわ湖大津観光協会 金子 博美
（一社）ホンミライ 今村 翔吾

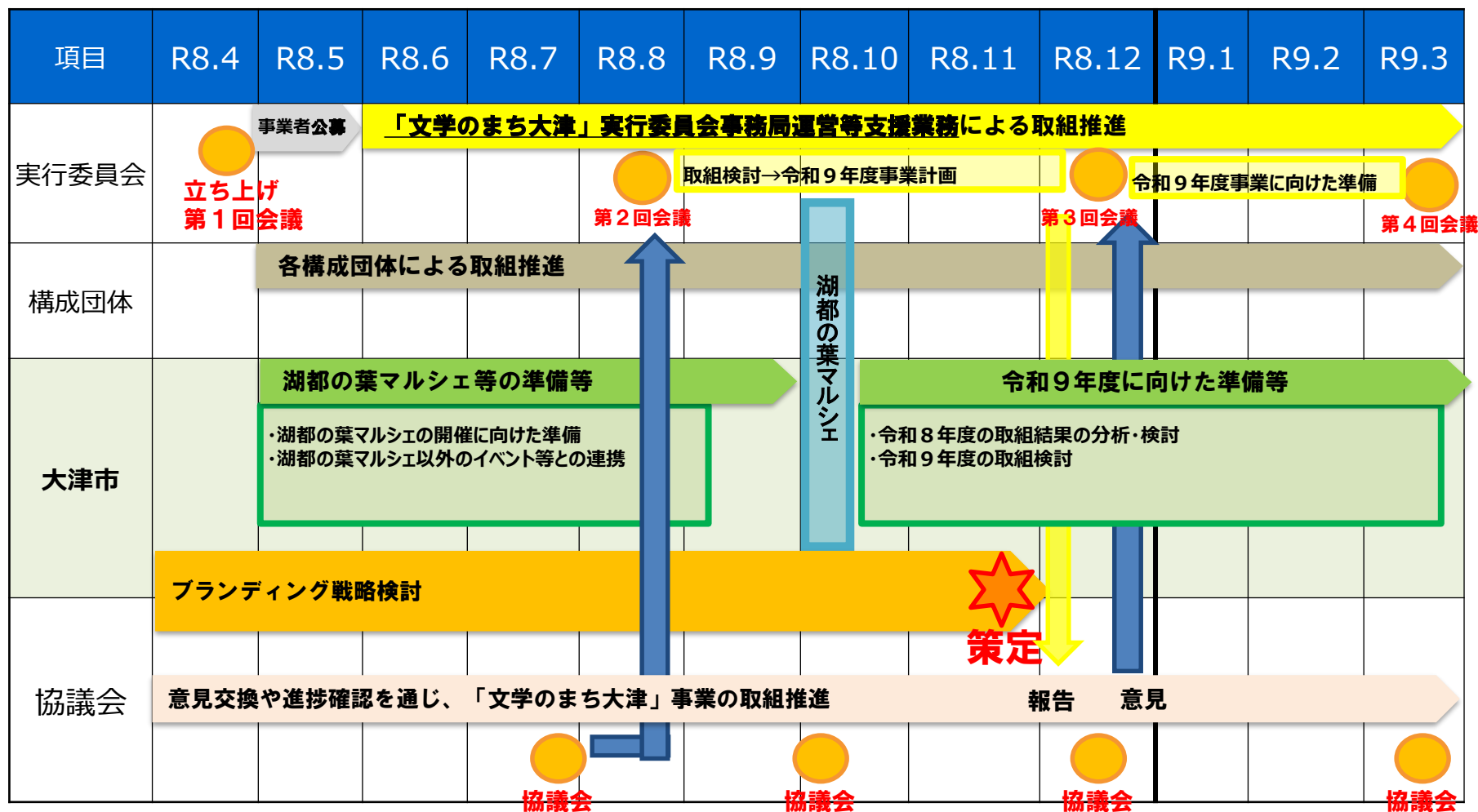
「文学のまち大津」実行委員会

目的：イベント等の企画検討、運営的な役割

- メンバー：湖都の葉マルシェや文学活動に関わっている方
- ・大津商工会議所 ・（公社）びわ湖大津観光協会
 - ・（株）まちづくり大津 ・「湖都の文学」編集委員
 - ・大津あきのた会 ・成安造形大学 ・大津市教育委員会
 - ・指定管理者（大津市民会館、旧大津公会堂） ・大津市

令和8年度の実組スケジュール

今年度の実組スケジュールは以下のとおり



令和 8 年度事業計画（案）

「文学のまち大津」推進協議会において策定検討が進められている「ブランディング戦略」を踏まえ、イベント等の企画・実施を進めていく。

なお、令和 8 年度は以下の取組を実施する。

【令和 8 年度】

①湖都の葉マルシェの開催

内容：文学作品のフリーマーケットやワークショップ、本の譲渡会などの実施

開催日：10月3日（土）（予定）

場所：なぎさ公園 おまつり広場・大津港修景緑地

②図書館と連携した「文学のまち」展示コーナーの設置（図書館）

内容：大津市立図書館において「文学のまち大津」展示コーナーの設置

場所：大津市立図書館

③作家への支援（観光振興課）

内容：文学コンテンツとして大津を舞台とした物語を執筆する作家への支援

④「文学のまち大津」に関連した文化・芸術鑑賞機会の創出、イベント等の開催

内容：本市の文学や歴史文化に親しむ機会となるイベントの開催

（１）snsを中心とした若年層・参画事業者向け広報の実施

① キャッチコピーの策定：「文学で、大津を遊ぼう」～このまちは、文学でもっと面白くなる～

【意図】

市民の多くが文学を自分ごとと捉えておらず、文学コンテンツ参加への心理的ハードルが高い状態にある。
(令和7年度アンケート：創作活動やイベント参加経験がない人が約6割)

これを受け「文学＝読書、創作」だけではない柔軟な文学コンテンツの創出が必要だと考える。

このキャッチコピーにより、

参画事業者には多角的で自由な視点で誰でも楽しめる文学コンテンツを数多く創出していただき、
若者を含むターゲットには気負いなく遊びの延長として文学コンテンツに参加してもらうことで、
大津市を文学で遊べるまちとしての認知向上を図るもの。

②Instagram公式アカウントの開設・運用開始

アカウント：@otsu_bungaku

ターゲット：大津市在住30～50代を中心とした市民層

方針：文学スポット・イベント情報・市民プレイヤーの発信を通じ、「文学のまち大津」の認知拡大とファン化を図る



13

令和9年度に向けた実行委員会での検討

令和8年秋に策定される予定の「ブランディング戦略」をもとに、令和9年度以降のイベント等の企画検討を進めていく。

【イベント等の企画検討（予定）】

令和8年

8月：第2回会議

- ・湖都の葉マルシェについて
- ・事業者提案に対する意見交換について

10月～11月：ブランディング戦略に基づく取組検討

12月：第3回会議

- ・令和9年度事業計画及び収支予算の策定に向けた検討

12月：「文学のまち大津」推進協議会

- ・令和9年度事業計画及び収支予算（案）に係る意見について

令和9年

3月：第4回会議

- ・令和9年度事業計画及び収支予算について